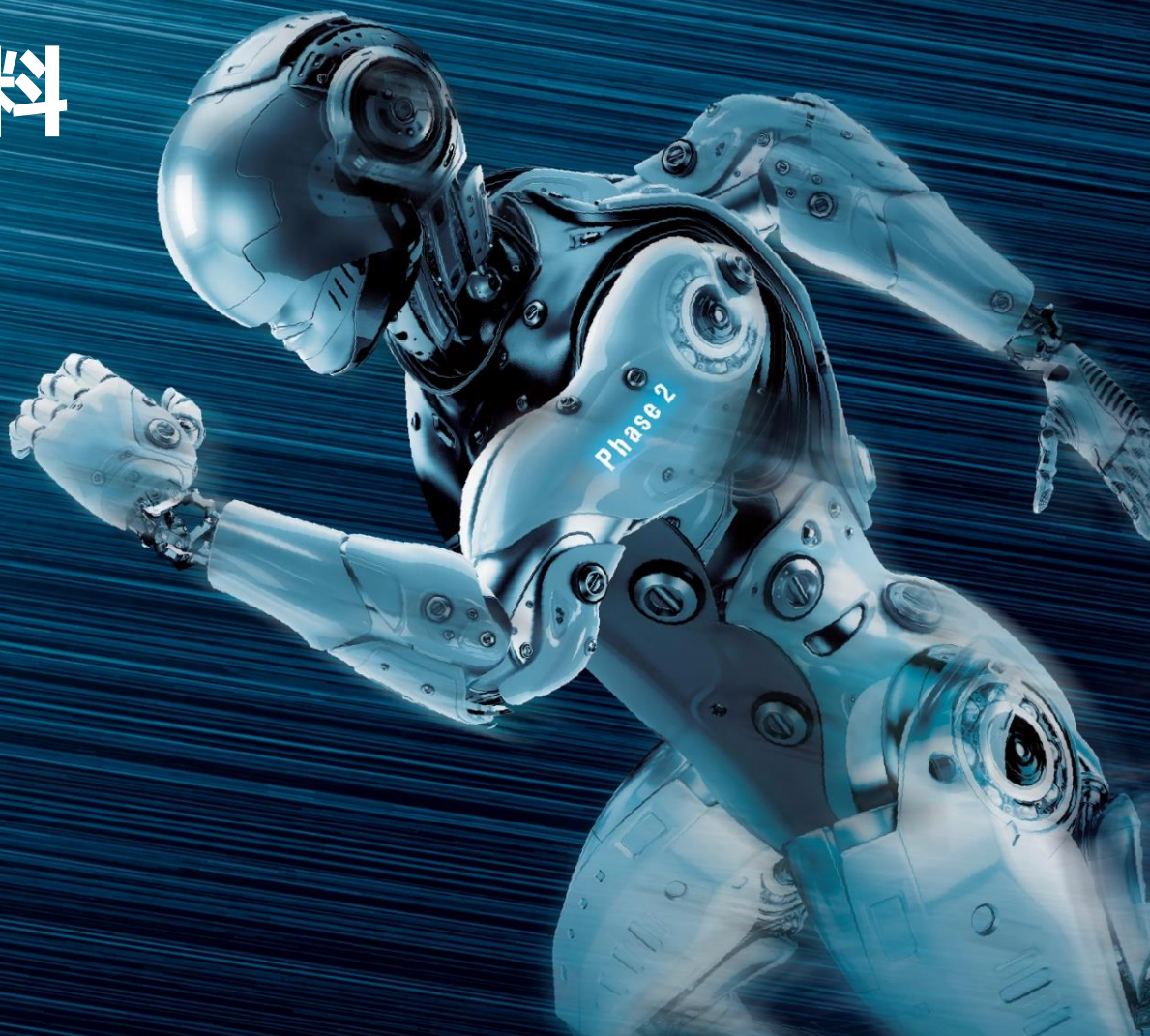


2024年3月期
第2四半期
決算説明会資料



2023年11月2日
NTN 株式会社

- I. 決算のポイントと「DRIVE NTN100」 Phase 2の進捗
- II. 2024年3月期第2四半期決算と通期見通し

①2024年3月期上期決算のポイント

前期比、公表比ともに増収増益で着地

- ◆ 売上高は、半導体不足の緩和、売価改善や為替の影響により**増収**
- ◆ 営業利益は、物量減少の影響を、売価改善や費用の削減により**増益**
- ◆ 棚卸資産は、為替の影響により増加、フリーキャッシュフローは、引き続き黒字

(億円)	2023年3月期		2024年3月期			
	上期実績①	通期実績	上期実績②	YoY ①vs②	上期(公表)③	公表差②vs③
売上高	3,717	7,740	4,096	+379(+10.2%) 除く為替(+5.3%)	4,040	+56(+1.4%) 除く為替(▲2.0%)
営業利益 (率)	39 (1.0%)	171 (2.2%)	68 1.7%	+29 (+0.7pt)	65 1.6%	+3 (±0pt)
経常利益	36	120	49	+13	45	+4
親会社株主に帰属する 当期純利益	△16	104	41	+58	45	▲4
為替レート						
1USD	133.9円	135.5円	140.8円	+6.9円	136.1円	+4.7円
1EURO	138.7円	140.9円	153.3円	+14.6円	149.7円	+3.6円
棚卸資産	2,476	2,394	2,561	+167(3月末比)		
設備投資	95	223	105	+10		
フリー・キャッシュフロー	135	204	242	+106		

アフターマーケットと産機は前期比減益、自動車は2Qで黒字確保

アフターマーケット

- ◆ 日本ではコロナ禍からの回復が一巡し、需要が減少
- ◆ 上期は計画以上に売価改善が進んだ一方で、産機向け需要減少に伴う工場稼働率低下により**前期比、公表比ともに減益**

産業機械

- ◆ 建機、農機、変減速機等の主要業種の需要減少により**前期比減収**
- ◆ 欧州では計画以上に売価改善が進んだ一方で、規模減少により**前期比、公表比ともに減益**

自動車

- ◆ 半導体不足の解消が進み、**前期比、公表比ともに増収**
- ◆ 2Q（7月-9月）は、計画以上に売価改善、費用削減が進み、**前期比、公表比ともに増益**

(億円)	アフターマーケット			産業機械			自動車			全事業		
	2024年3月期			2024年3月期			2024年3月期			2024年3月期		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
売上高	355	344	698	329	319	648	1,324	1,426	2,750	2,008	2,089	4,096
前年同期差	+31	+8	+39	▲12	▲30	▲43	+263	+120	+383	+282	+98	+379
8月IR（公表）差			+3			+3			+50			+56
営業利益	48	41	89	9	5	14	▲41	6	-35	15	53	68
前年同期差	+2	▲12	▲11	▲4	▲9	▲13	+25	+28	+53	+23	+6	+29
8月IR（公表）差			▲16			▲6			+25			+3
営業利益率	13.5%	11.9%	12.7%	2.6%	1.7%	2.2%	▲3.1%	+0.4%	▲1.3%	0.7%	2.5%	1.7%

③ 下期のポイントと通期の業績予想

通期の業績予想は、前回予想を据え置き

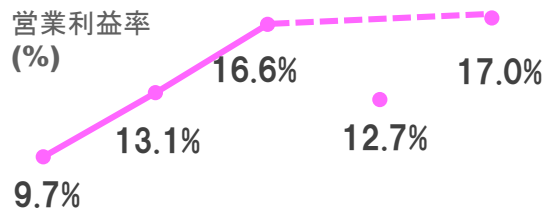
- ◆ 従来からの世界的な金融引き締め、為替やインフレ等の影響に加え、米国の自動車ストからの回復、中国不動産市場の停滞、ウクライナ・中東情勢の影響を、見通せない状況

(億円)	2023年3月期		2024年3月期			
	通期実績		上期実績	通期予想	通期(前回公表)	前回公表差
売上高	7,740		4,096	8,250	8,250	0
営業利益	171		68	300	300	+0
(率)	(2.2%)		1.7%	3.6%	3.6%	(0pt)
経常利益	120		49	230	230	+0
親会社株主に帰属する 当期純利益	104		41	110	110	+0
為替レート	1USD	135.5円	140.8円	137.9円	135.5円	+2.4円
	1EURO	140.9円	153.3円	151.7円	149.8円	+1.9円
棚卸資産	2,394		2,561	2,300	2,300	0
設備投資	223		105	280	280	0
フリー・キャッシュフロー	204		242	290	290	0

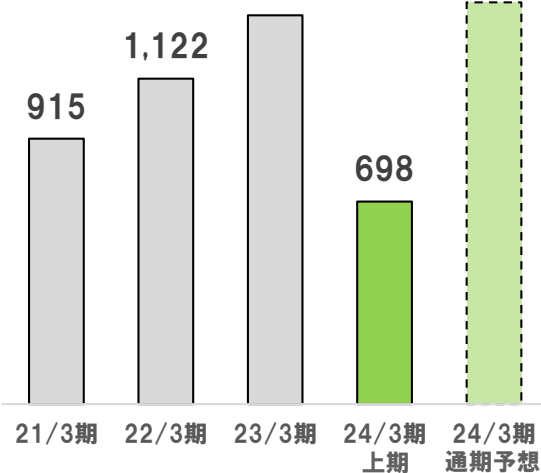
④事業形態別の業績予想

事業形態別の業績予想についても、前回予想を据え置き

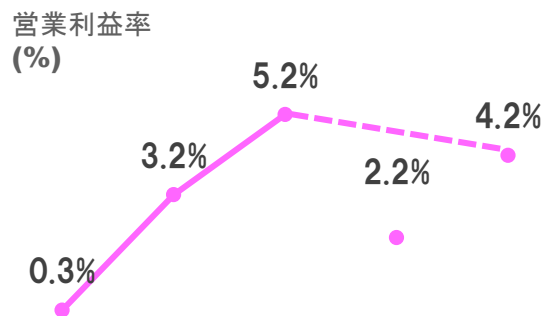
アフターマーケット



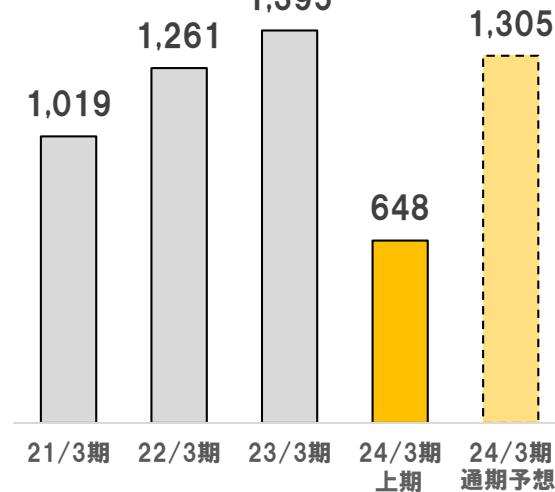
売上高 (億円)



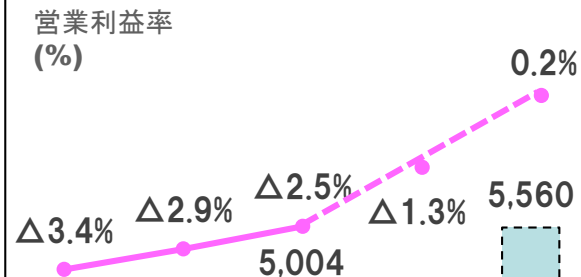
産業機械



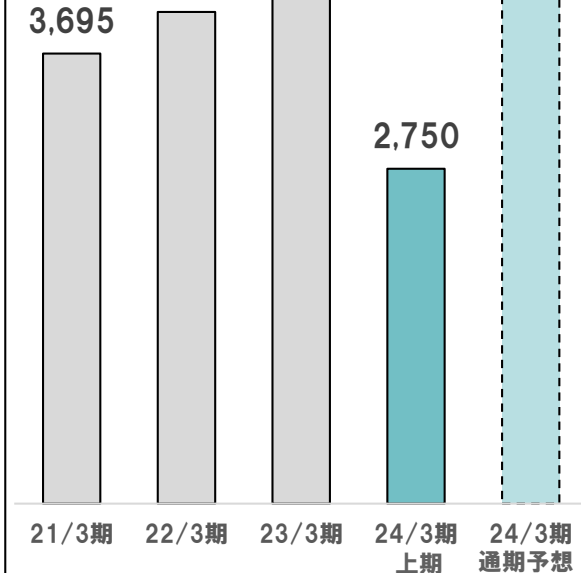
売上高 (億円)



自動車



売上高 (億円)



⑤アフターマーケットおよび産業機械事業の課題と対策

下期課題

- ◆ アフターマーケットの需要は、横ばい
- ◆ 産機は、上期の需要状況が継続、または一段と減少するリスク

業種別販売概況	FY22 2H FY23 1H	FY23 1H FY23 2H
建設機械 		
変減速機 		
農業機械 		
航空・宇宙 		
風力発電 		
工作機械 		
鉄道車両 		

- ◆ 上期同様、産機の需要減少に伴い、工場稼働率の低下により利益率悪化のリスク

利益改善の対策

- ◆ インフレに伴う**売価改善の継続**
- ◆ 不採算ビジネスの**値上げ、縮小の加速**
- ◆ 需要減に伴う産機向け生産能力を、**アフターマーケット向け出荷と在庫拡充に振り向け**



10月 和歌山製作所落成式

- ◆ 最適地調達を拡大
- ◆ 規模縮小に応じた**速やかな固定費削減**

TOPICS



センサ内蔵転がり軸受「しゃべる軸受®」が2023年度“超”モノづくり部品大賞の「機械・ロボット部品賞」を受賞

⑥自動車事業の黒字化に向けた取組みの進捗

価格改定活動の強化

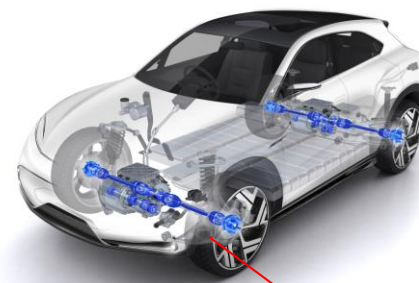
- ◆ インフレに伴う売価改善を継続
- ◆ 不採算ビジネスの利益改善
(原低、値上げ、撤退)

調達改革による原低

- ◆ 欧米向けに中国、韓国サプライヤーの採用開始
- ◆ 鋼材の集中購買交渉の拡大

電動化・商用車等ターゲットセグメントでの新規受注案件寄与

- ◆ 欧州における商用車向け大型サイズ商品、高効率固定式等速ジョイント「CFJ」の立ち上がり
- ◆ 日本における自動車メーカーのCVJ内製切替品量産開始



高効率固定式
等速ジョイント「CFJ」

固定費適正化による原低

- ◆ 乗用車ピーク需要からの規模減に応じた固定費削減
- ◆ 米国の離職率良化と生産性改善

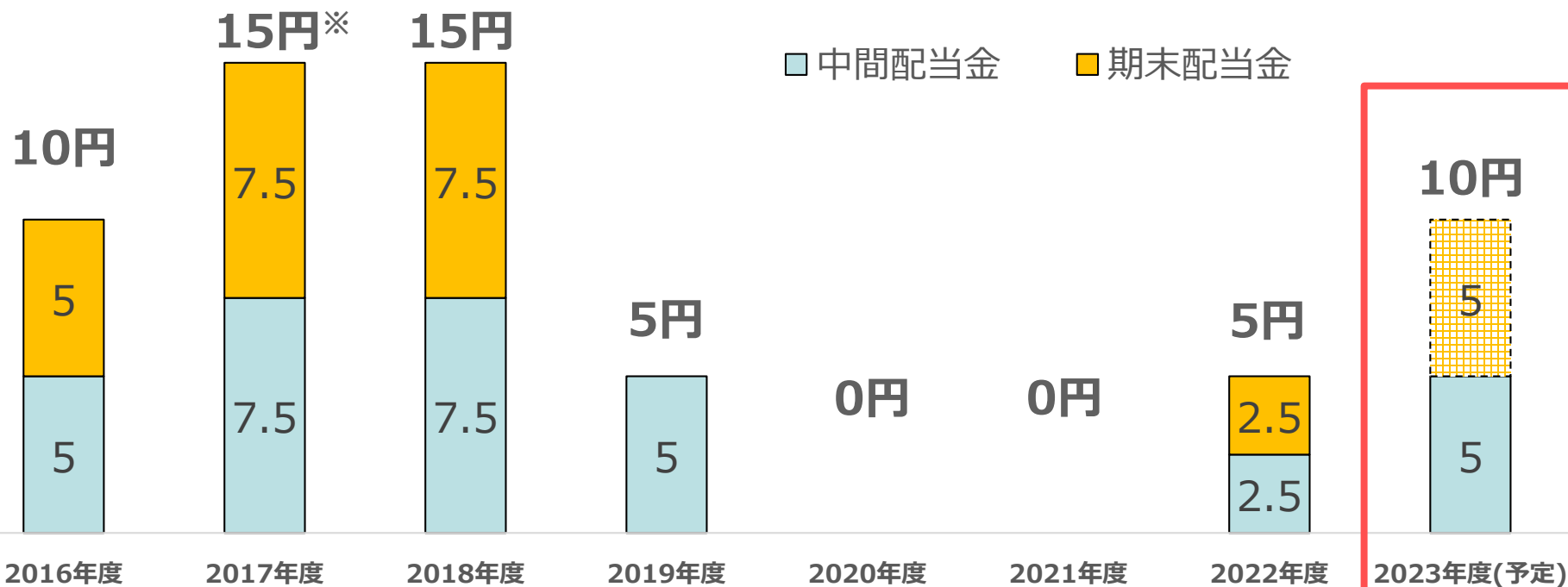
21年3月期4Q以来の営業黒字化。通期で黒字化を達成する。

⑦株主還元の見通し

- ◆ 中長期的な視点から安定的に継続しつつ、経営成績に応じて実施
- ◆ 安定配当目標：DOE 4%

2023年度配当

- ◆ 2023年度の配当は、年初予想を据え置き、1株あたり10円を予定



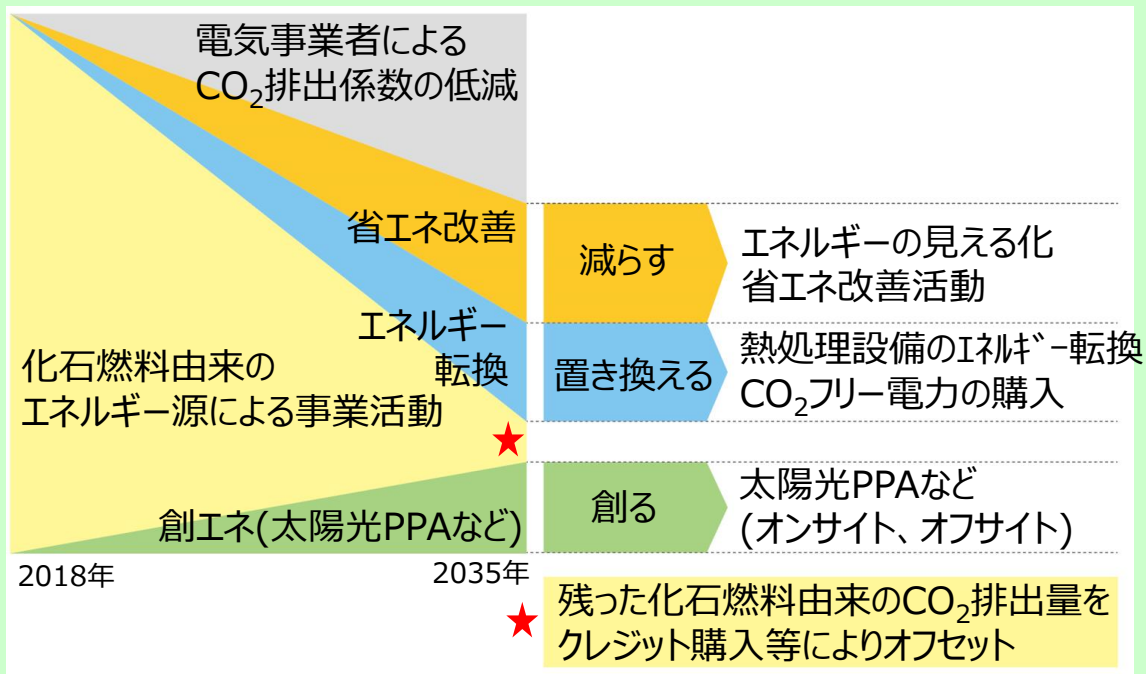
※ 創業100周年記念配当含む

⑧ ESG経営の取り組み

ESGに関する取り組みの詳細は統合報告書「NTNレポート」を参照ください
<https://www.ntn.co.jp/japan/csr/ntnreport.html>

E:環境

◆ カーボンニュートラル実現に向けたイメージ



◆ 「カーボンニュートラル推進委員会」の設置

G:ガバナンス

- ◆ 「サステナビリティ委員会」が取組内容を取締役会に報告

S:社会

- ◆ 国内外で執行役がタウンホールミーティングを開催
- ◆ 「N³ エヌキューブ」を活用した充電ステーションモデルを発表



【充電ステーションモデル】

ご参考：中期計画3年間の事業運営方針（中期計画資料の抜粋）

※中期経営計画の詳細はホームページを参照ください：<https://www.ntn.co.jp/japan/investors/mtermplan.html>

DRIVE NTN100

2027年度
の姿

基本方針

新しい100年に向けて、事業構造の変革を加速

基本戦略

Digitalization（最新デジタル技術）x **R**esources（NTNが培った経営資源）
Innovation（革新的な技術・商品・サービスの開発）
Variable cost reformation（調達改革）
Efficiency improvement（生産性と品質の世界一同時達成/資産効率の向上）

売上高
成長率

各地域のGDP
成長率+α

営業
利益率

10%以上

総資産
回転率

1.0回転以上

為替
感応度

半減

事業運営
方針

Phase 1
(2018年度～2019年度)

危機対応期間
(2020年度)

Phase 2
(2021年度～2023年度)

Phase 3
(2024年度～)

既存の商品・事業の利益率
と投資効率を追求

従業員の健康と
安全の確保

既存の商品・事業の利益率
と投資効率を追求

新事業と
基盤事業の
領域を構築

新たな事業・商品を
創出して事業化

事業資金の確保
及び事業継続

新事業の峻別と経営資源の
配分の見直し

・つくる
・育てる
・稼ぐ

事業構造の変革を支える
経営体制の構築

将来の成長に
向けた準備

コーポレートガバナンスの強化
(経営基盤の再構築)

Phase 1
財務体質の
急激な悪化

外部環境
EV化、電動化、DXの再加速
COVID-19（不確実性）
安全重視・働き方の変容

Phase 2
1. 3年間でNTN再生に注力
(BSの立て直し、CFの改善)
2. 将来の成長に向けた種まき

- I. 決算のポイントと「DRIVE NTN100」 Phase 2の進捗
- II. 2024年3月期第2四半期決算と通期見通し

①連結主要指標

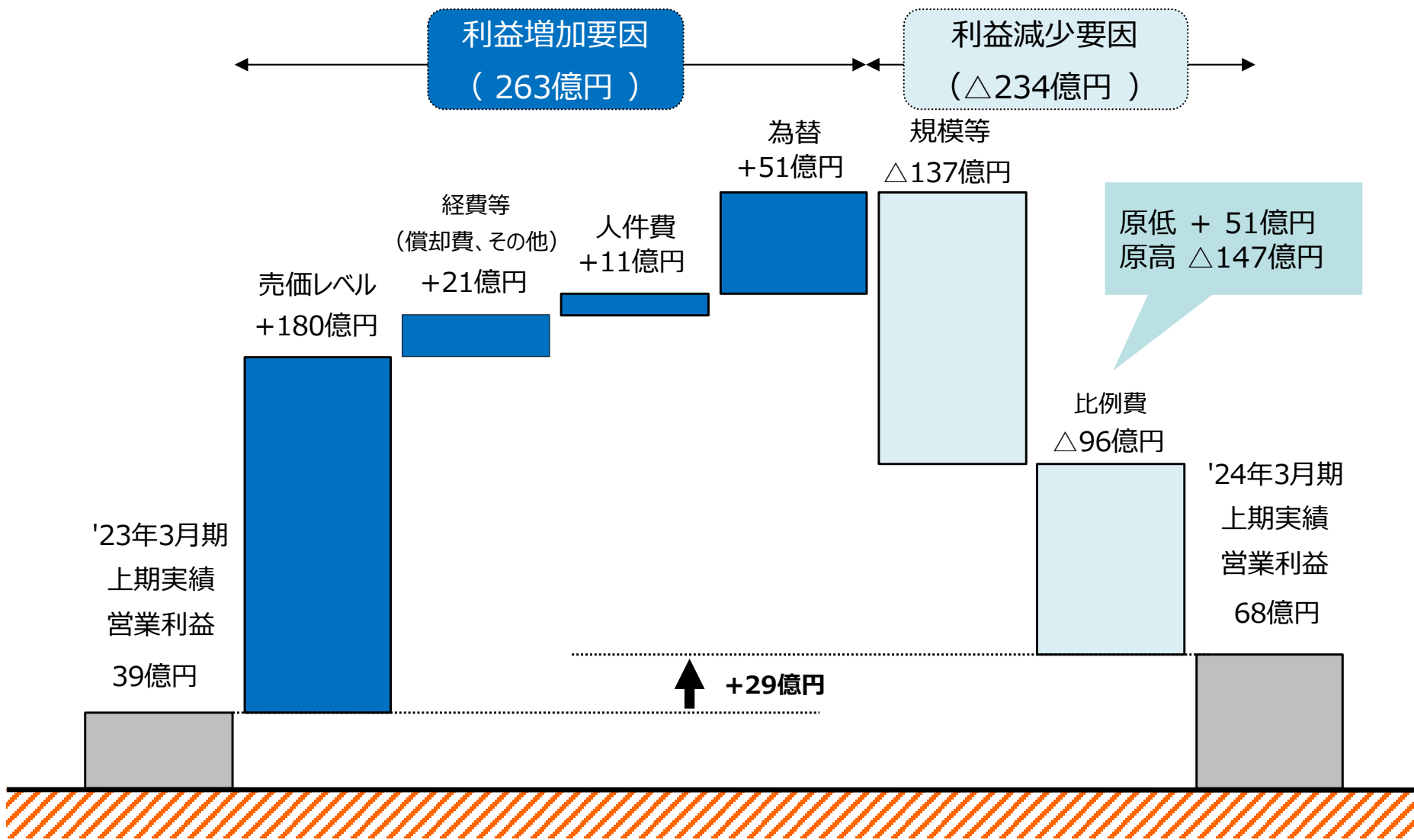


(億円)	'23年3月期			'24年3月期		増減			(参考)	
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し	対前年同期			上期 見通し	通期 見通し
	①			②	(今回公表)	②-①		為替	(前回公表)	(前回公表)
						合計	除く為替	為替		
売上高	3,717	4,023	7,740	4,096	8,250	379	199	181	4,040	8,250
営業利益	39	133	171	68	300	29	△ 22	51	65	300
(率)	(1.0%)	(3.3%)	(2.2%)	(1.7%)	(3.6%)	(0.6%)			(1.6%)	(3.6%)
経常利益	36	85	120	49	230	13	△ 39	52	45	230
特別損益	-	△ 12	△ 12	△ 4	△ 40	△ 4	△ 4	△ 0	0	△ 40
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 16	120	104	41	110	58	23	35	45	110
棚卸資産 (※)	2,476	2,394	2,394	2,561	2,300	167	△ 2	169	2,370	2,300
フリー・キャッシュ・フロー	135	68	204	242	290	106	-	-	192	290
為替レート 1USD	133.9円	137.0円	135.5円	140.8円	137.9円	6.9円			136.1円	135.5円
1EURO	138.7円	143.1円	140.9円	153.3円	151.7円	14.6円			149.7円	149.8円

(※)棚卸資産は23年3月末よりの増減額

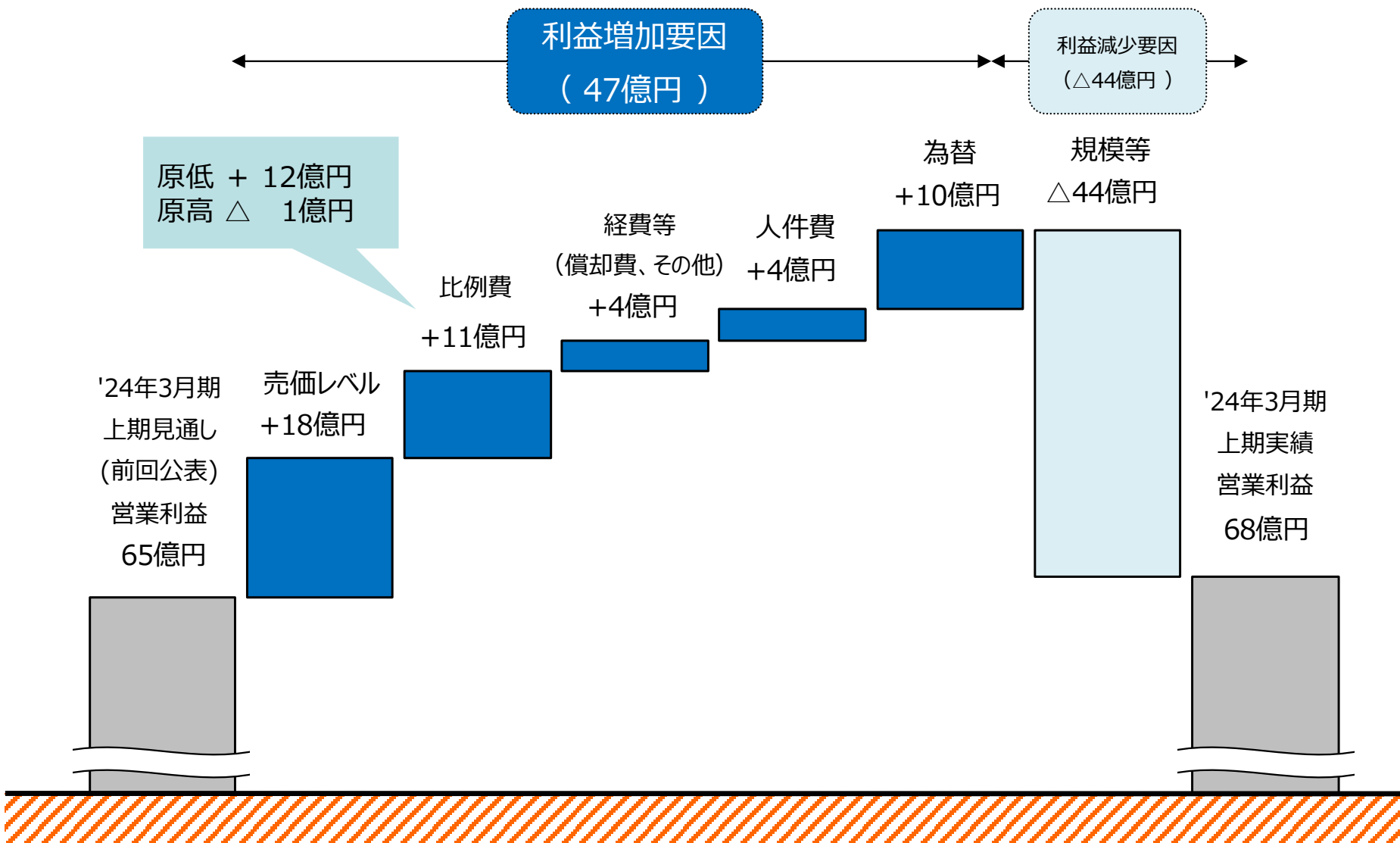
②-1 営業利益増減

〔 '23年3月期 上期 < 実績 >
vs '24年3月期 上期 < 実績 > 〕



②-2 営業利益増減

'24年3月期 上期 < 見通し(前回公表) >
vs '24年3月期 上期 < 実績 >



③地域別売上高

(参考)

(億円)	'23年3月期			'24年3月期		増減			'24年3月期	
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し	対前年同期 ②-①			上期 見通し	通期 見通し
	①			②	(今回公表)	合計	除く為替	為替	(前回公表)	(前回公表)
日本	955	1,061	2,016	1,047	2,170	91	91	0	1,055	2,170
米州	1,186	1,277	2,462	1,332	2,630	147	71	76	1,300	2,630
欧州	720	832	1,552	842	1,730	122	42	80	850	1,730
アジア他	856	853	1,709	876	1,720	20	△ 5	25	835	1,720
合 計	3,717	4,023	7,740	4,096	8,250	379	199	181	4,040	8,250

④事業形態別売上高・営業利益



<事業形態別売上高>

	'23年3月期			'24年3月期	
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し
(億円)	①			②	(今回公表)
アフターマーケット	659	681	1,340	698	1,385
産業機械	691	704	1,395	648	1,305
自動車	2,367	2,637	5,004	2,750	5,560
合計	3,717	4,023	7,740	4,096	8,250

増減		
対前年同期 ②-①		
合計	除く為替	為替
39	2	37
△ 43	△ 68	26
383	265	118
379	199	181

(参考)

'24年3月期	
上期 見通し	通期 見通し
(前回公表)	(前回公表)
695	1,385
645	1,305
2,700	5,560
4,040	8,250

<事業形態別営業利益>

	'23年3月期			'24年3月期	
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し
(億円)	①			②	(今回公表)
アフターマーケット	100	123	223	89	235
産業機械	27	46	73	14	55
自動車	△ 88	△ 36	△ 124	△ 35	10
合計	39	133	171	68	300

増減
対前年同期
②-①
△ 11
△ 13
53
29

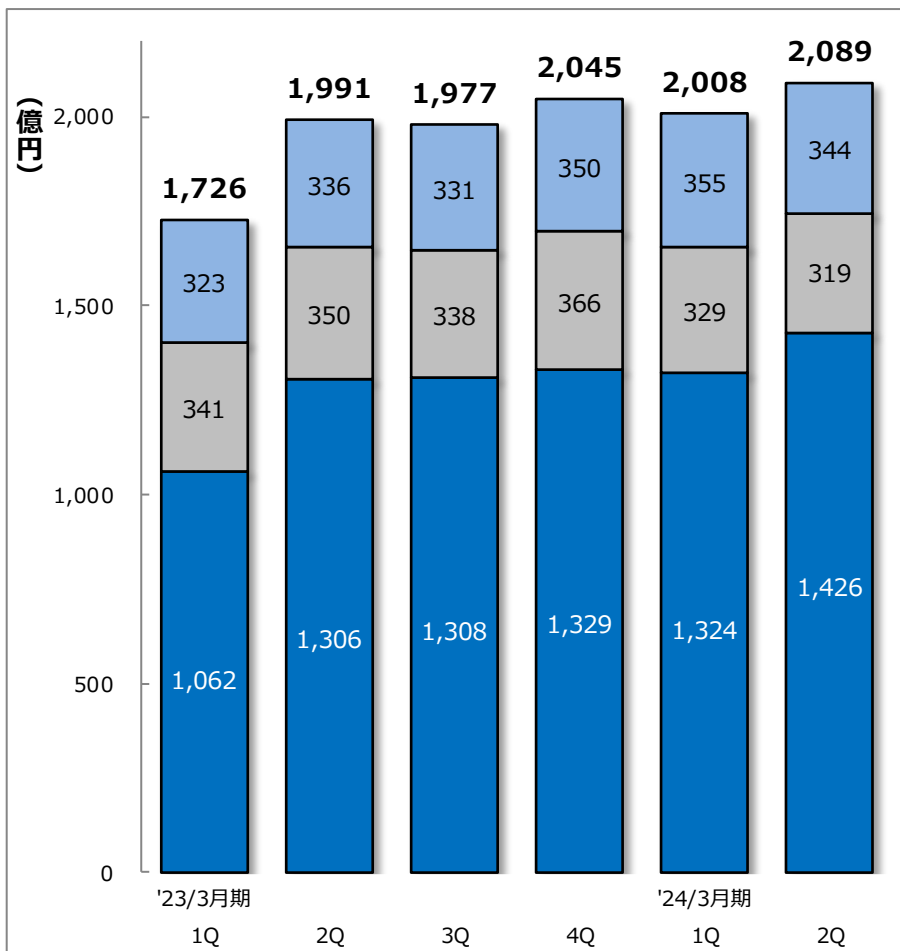
(参考)

'24年3月期	
上期 見通し	通期 見通し
(前回公表)	(前回公表)
105	235
20	55
△ 60	10
65	300

⑤事業形態別業績（四半期推移）

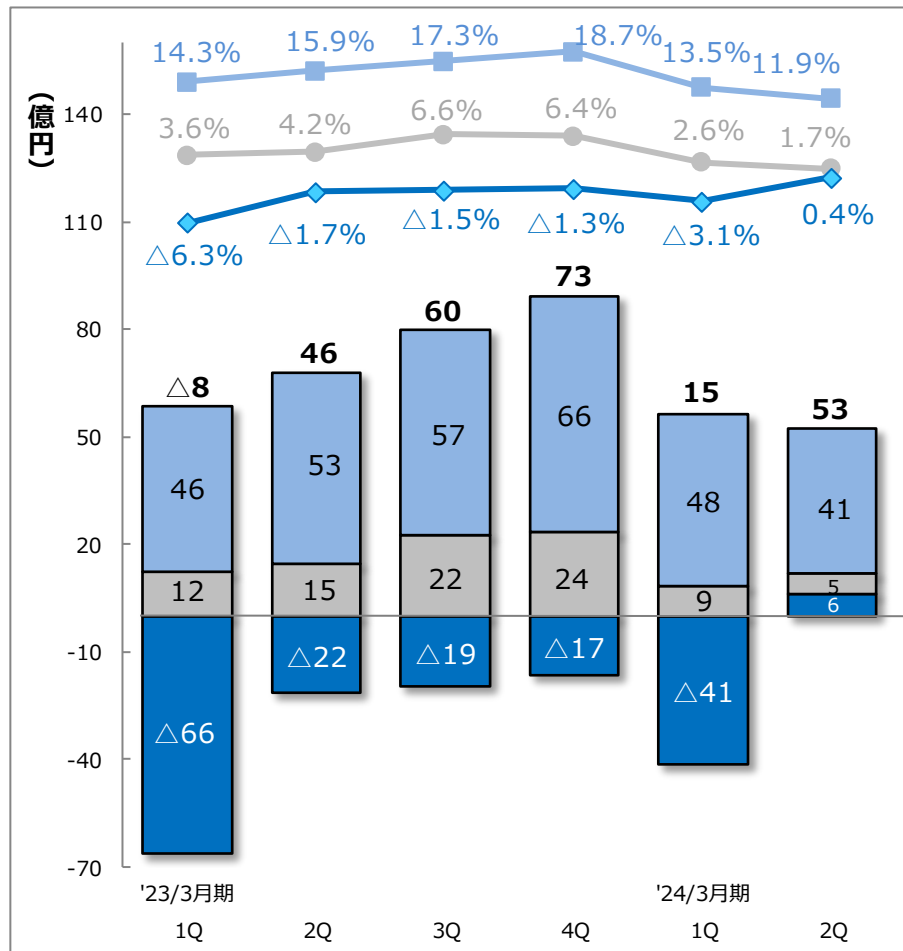
売上高

■自動車 ■産業機械 ■アフターマーケット



営業利益/営業利益率

■自動車 ■産業機械 ■アフターマーケット



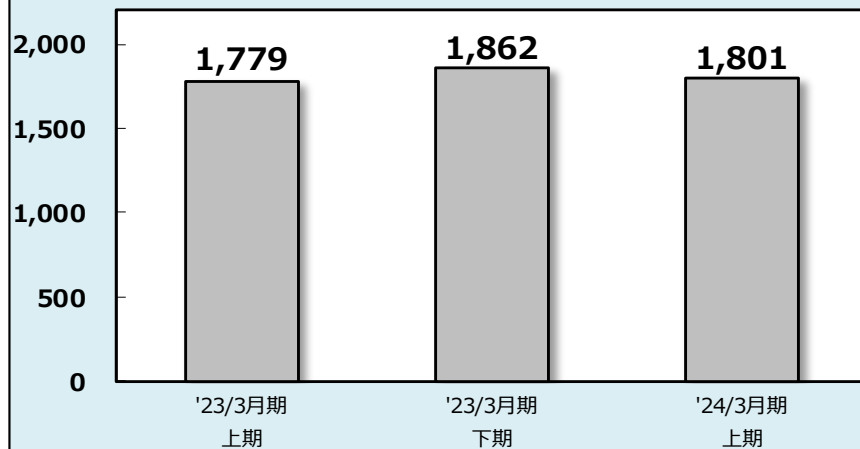
⑥-1 所在地別 売上高・営業利益 (日本・米州)

《 日本 》

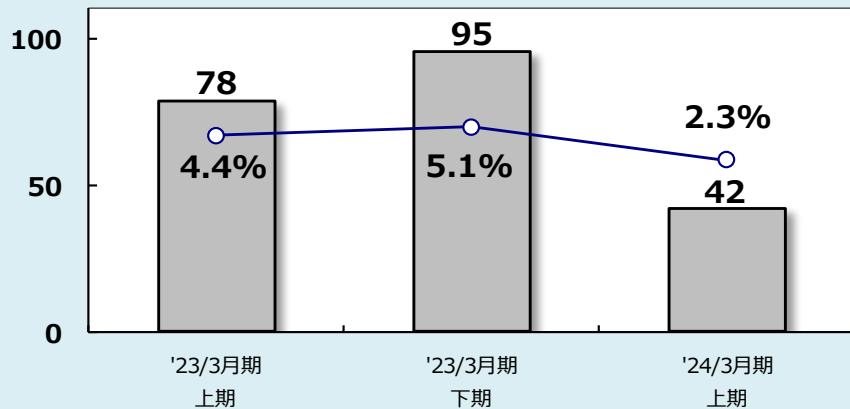
《 米州 》

売上高

(億円)

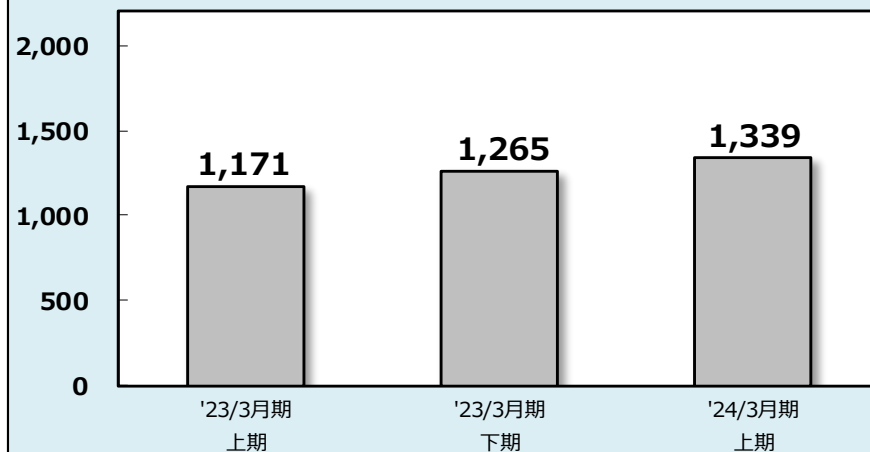


営業利益

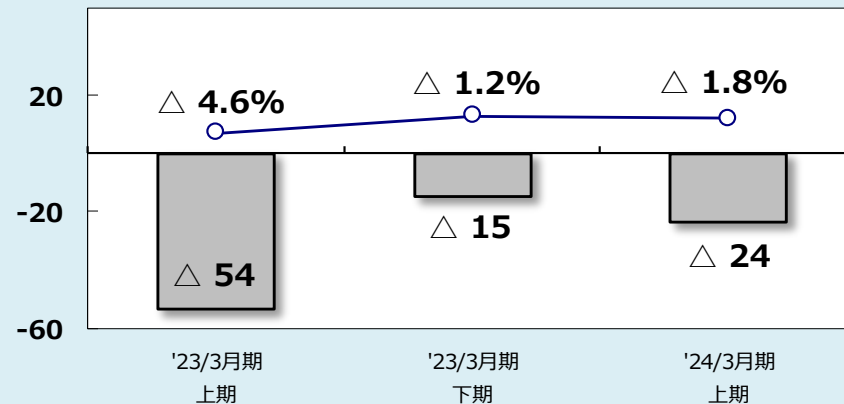


売上高

(億円)



営業利益



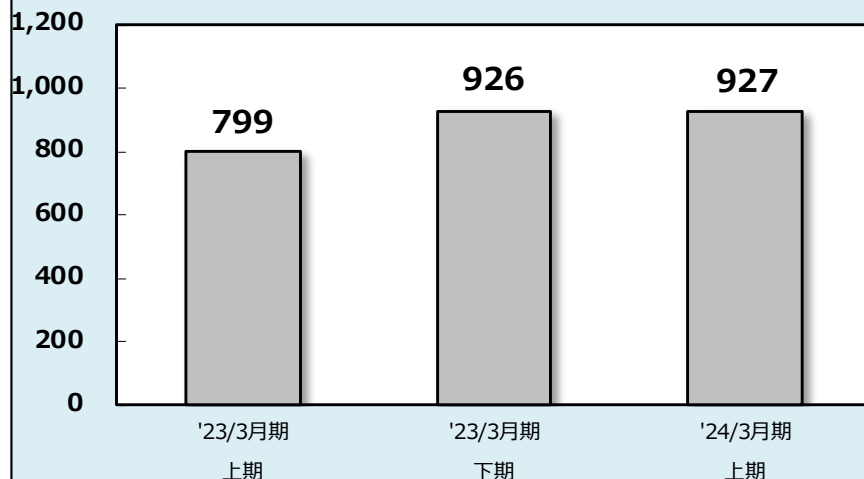
⑥-2 所在地別 売上高・営業利益 (欧州・アジア他)

《 欧州 》

《 アジア他 》

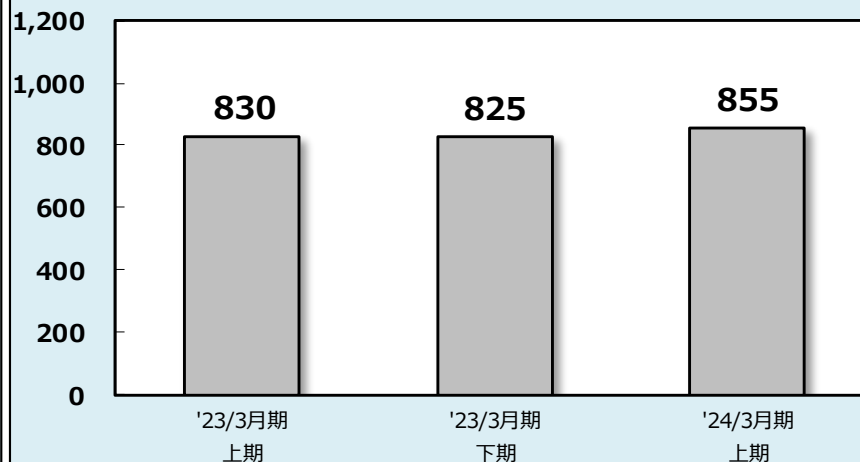
売上高

(億円)

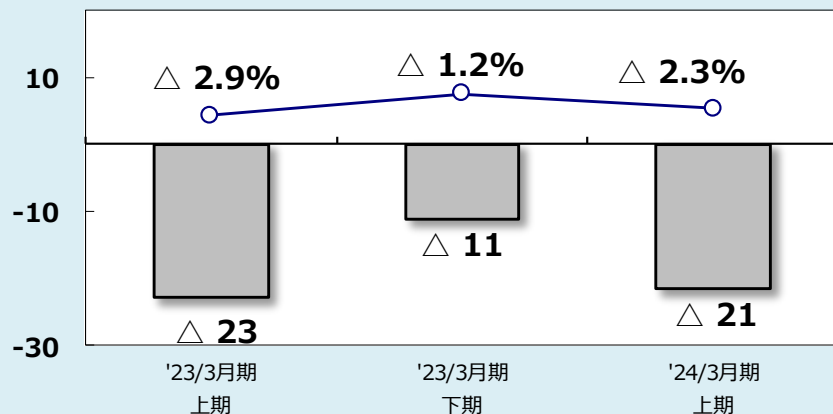


売上高

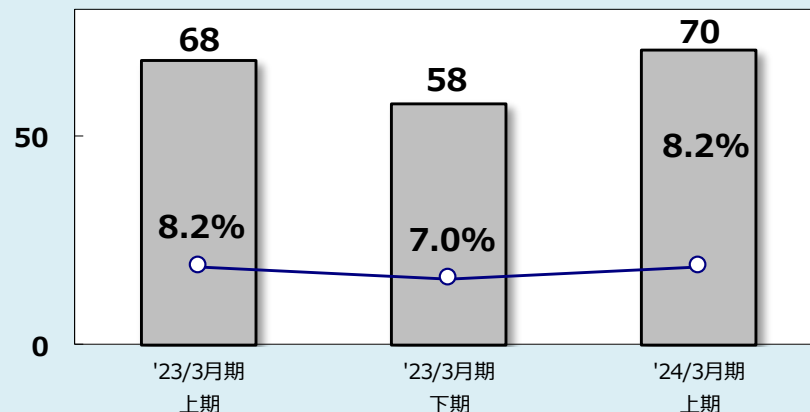
(億円)



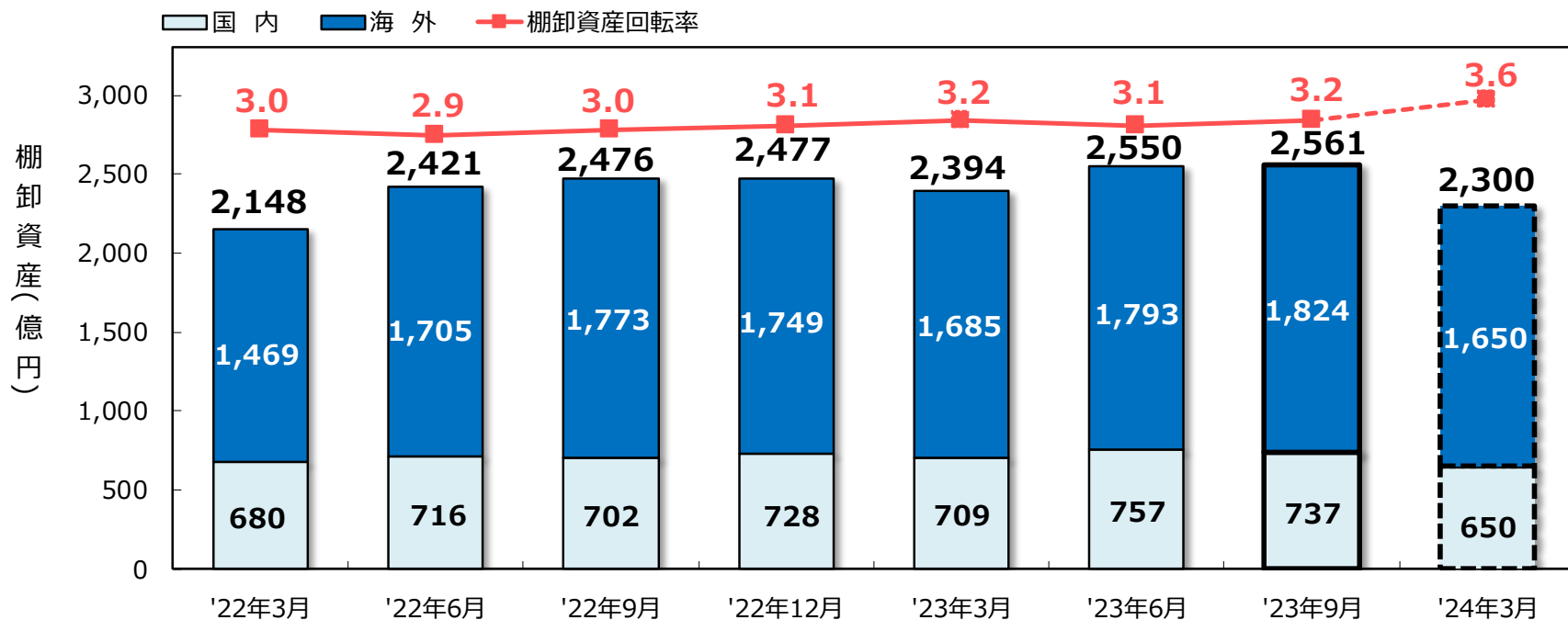
営業利益



営業利益



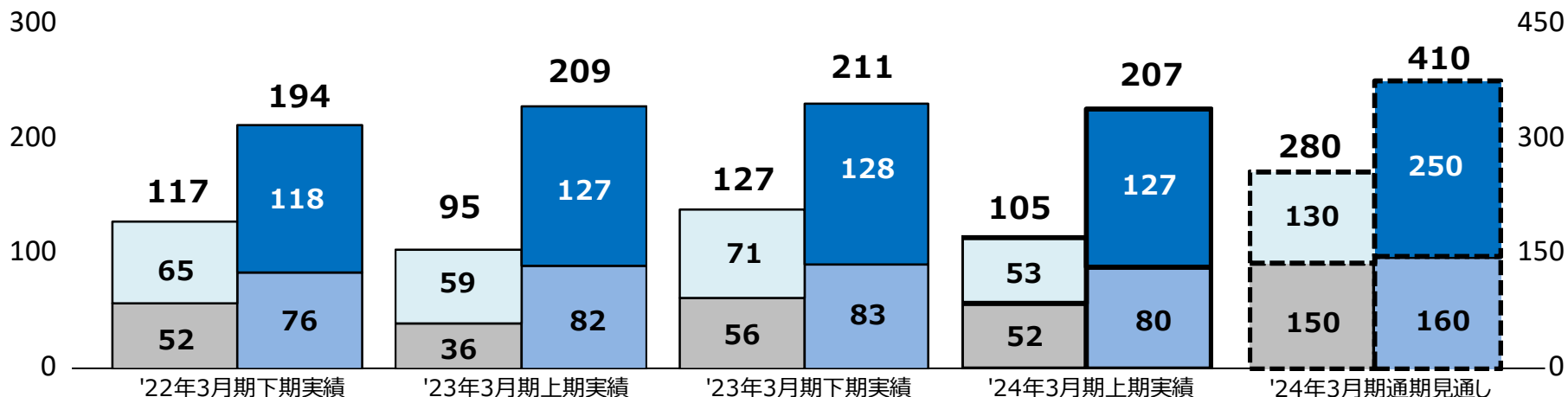
⑦棚卸資産



(億円)	'22年3月 実績	'22年6月 実績	'22年9月 実績	'22年12月 実績	'23年3月 実績	'23年6月 実績	'23年9月 実績	'24年3月 見通し
棚卸資産	2,148	2,421	2,476	2,477	2,394	2,550	2,561	2,300
(海外)	(1,469)	(1,705)	(1,773)	(1,749)	(1,685)	(1,793)	(1,824)	(1,650)
(国内)	(680)	(716)	(702)	(728)	(709)	(757)	(737)	(650)
棚卸資産回転率(回)	3.0回	2.9回	3.0回	3.1回	3.2回	3.1回	3.2回	3.6回

⑧設備投資・減価償却費

(単位：億円)

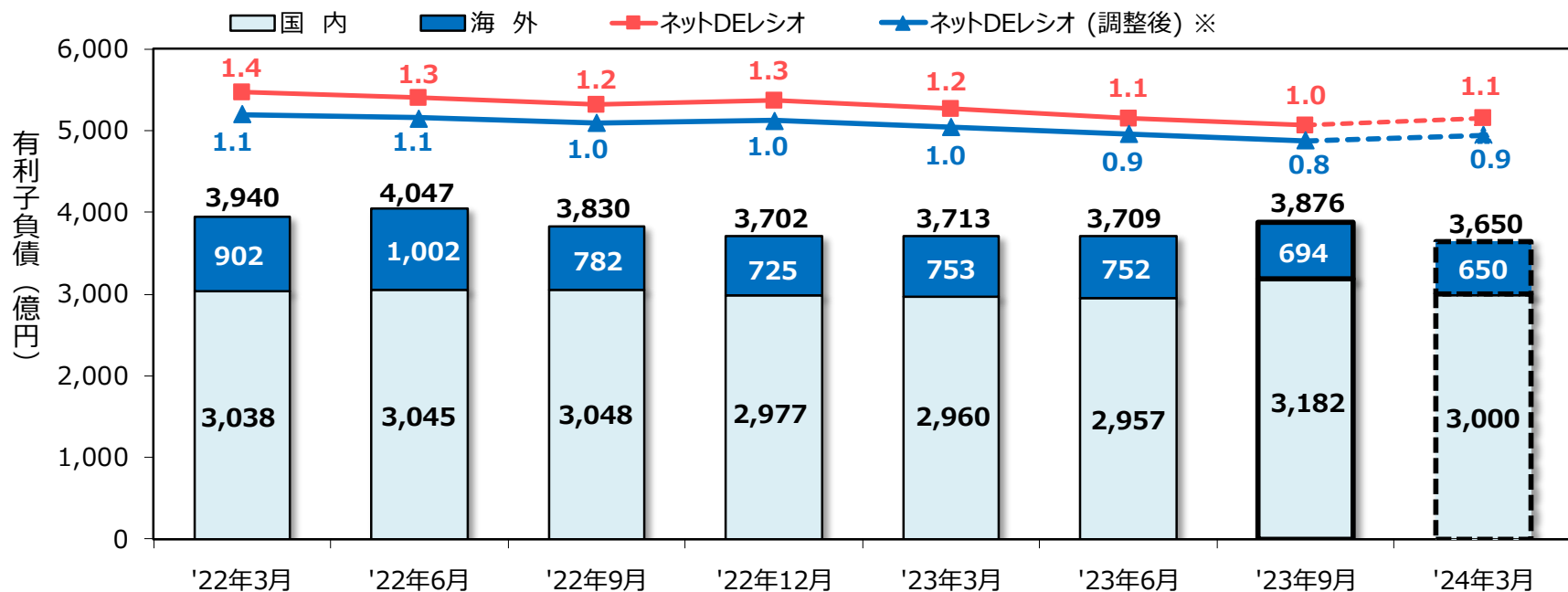


(億円)	'22年3月期 下期実績	'23年3月期 上期実績①	'23年3月期 下期実績	'24年3月期 上期実績②	増減 ②-①	'24年3月期 通期見通し
設備投資	117	95	127	※ 105	10	280
(海外)	(65)	(59)	(71)	(53)	(△6)	(130)
(国内)	(52)	(36)	(56)	(52)	(16)	(150)

※他に、無形固定資産投資額があります。'24年3月期 4-9月実績：13億円 '24年3月期 通期見通し：50億円

(億円)	'22年3月期 下期実績	'23年3月期 上期実績①	'23年3月期 下期実績	'24年3月期 上期実績②	増減 ②-①	'24年3月期 通期見通し
減価償却費	194	209	211	207	△2	410
(海外)	(118)	(127)	(128)	(127)	(△1)	(250)
(国内)	(76)	(82)	(83)	(80)	(△2)	(160)

⑨有利子負債

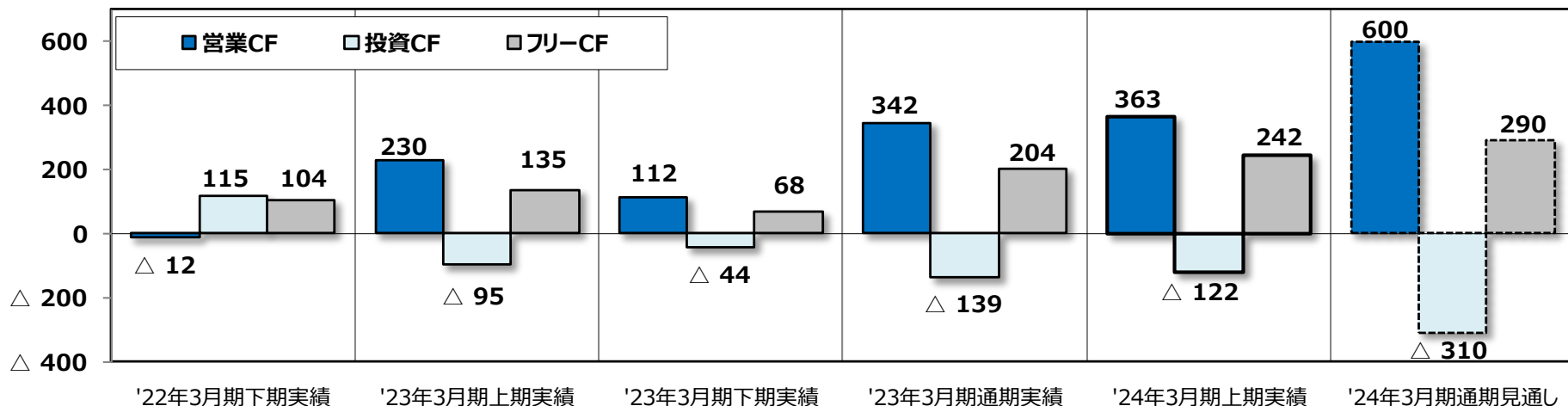


(億円)	'22年3月 実績	'22年6月 実績	'22年9月 実績	'22年12月 実績	'23年3月 実績	'23年6月 実績	'23年9月 実績	'24年3月 見通し
有利子負債	3,940	4,047	3,830	3,702	3,713	3,709	3,876	3,650
(海外)	(902)	(1,002)	(782)	(725)	(753)	(752)	(694)	(650)
(国内)	(3,038)	(3,045)	(3,048)	(2,977)	(2,960)	(2,957)	(3,182)	(3,000)
ネット有利子負債	2,726	2,786	2,688	2,650	2,606	2,537	2,434	2,430

※公募ハイブリッド社債の資本性認定部分 (50%) を調整。

⑩ キャッシュ・フロー

(億円)	'22年3月期		'23年3月期		'24年3月期 上期実績②	②-①	'24年3月期 通期見通し
	下期実績	上期実績①	下期実績	通期実績			
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	△12	230	112	342	363	133	600
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	115	△95	△44	△139	△122	△27	△310
I + II. フリー・キャッシュ・フロー	104	135	68	204	242	106	290
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	△185	△250	△83	△333	42	292	△170
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	41	41	△20	21	50	9	△27
V. 現金及び現金同等物の 増減額	△40	△73	△35	△108	333	407	93



I. 目的及び資金使途

経営環境の変化にしなやかに対応しながら企業価値を増大させるために、

- 選択と集中を通じた「**持続的成長に向けた投資**」と「**強固な財務体質の構築**」が不可欠
- 市場環境、既存株主への影響、調達コスト等を勘案の上、本社債の発行を決定

成長分野への投資
約100億円

生産性向上・戦略的
生産再編に係る投資
約100億円

カーボンニュートラル社会
への対応資金
約20億円

II. 概要

1. 払込期日（発行日）	2023年9月22日（ロンドン時間）
2. 償還期限	2025年12月19日
3. 発行総額	220億円
4. 金利率	0%（ゼロクーポン）
5. 転換価額	339.5円（2023年9月6日終値 303.2円より11.97%アップ）
6. 主な付帯条項	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトコール条項（株式への転換促進） ・額面現金決済型取得条項（転換による希薄化を一定程度抑制）
7. 潜在株式比率（希薄化）	12.20%（= 潜在株式数 ÷ 発行済株式総数《自己株式除く》※）

※ 2023年8月31日時点

DRIVE

Digitalization Resources Innovation Variable cost reformation Efficiency improvement

NTN100

Phase 2

- 本資料およびプレゼンテーション、引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。